

8. 神戸クルーザー

～島国の日本だからこそ、海について考えてみよう～

停泊中の日本最大級の レストランクルーズ船から学ぶ「循環型SDGs」



『The KOBE CRUISE と SDGs』

私たちはクルーズの会社として、神戸港でレストラン船を運航しています。みなさまに美しい海でクルージングをお楽しみいただきたいと考えております。そこで、海の環境問題に関心を持っていただき、SDGsの14番「海の豊かさを守ろう」について、海洋ごみや海の資源の内容を、停泊している船内で、わかりやすく学んでいただきます。

プラスチックフリーな未来の実現

使用している米ストローは、精米の際に出てくる非食用の碎米を使用しています。お米とコーンスターチのみでできているので、ゴミを排出せず、自然界に返しています。



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①神戸クルーザーの取り組みについて講演
- 10:30～ ②ワークショップ
- 11:00～ ③船員による職業体験プログラム
(船内見学ツアー)
・1グループ10名程度で分散
- 11:45頃 終了

実施場所：ルミナス神戸2の停泊船内
実施時間：平日10:00～17:00
(※事前に確認必要)
所要時間：1時間30分～2時間
実施可能人員：30名～100名
(※100名以上は要相談)
実施費用：2,000円/人

①神戸クルーザーの取り組みについて講演

神戸港150年の歴史は【水質汚染】との闘いでもありました。さまざまな取り組みによって現在の綺麗な海になり、それを守るための取り組みを説明します。

②ワークショップ (テーマは「循環型SDGs」)

従来のバイキング料理・テーブルマナー教育に加え、使用するカトラリーを植物性のものをご提供する等の配慮を行っています。(米ストロー等)
使い終わった食器を海に放流する事で魚類の発育に繋げる「循環型SDGs」を実体験する事で新たな視点を持っていただきます。そのうえで、自身の身のまわりで取り組める「循環型SDGs」とは何かをグループワークで発表していただきます。

③船員による職業体験プログラム

船員の案内による、各機器の説明(操舵機、レーダー、GPS等)や双眼鏡を使用した海の観察を行います。

8. 神戸クルーザー



学習のポイント

- ① 海の環境問題について考える
- ② 食べることによる循環型SDGsについて学ぶ
- ③ 船員の仕事を理解する



学習の流れ（モデル）

